

珍しい魚

チョットぶさいくなお魚カワビシヤ

古いお話で申し訳ありませんが、記録として残すことができていませんでしたので今更ながら報告します。

2015年8月10日に香川県男木島トウガハナ沖において、高松市瀬戸内漁協の小型機船底びき網漁業でカワビシヤが漁獲されました。漁師のNTAさんから「漁師仲間OTMが珍しい魚を獲ってきた。初めて見た。見に来てくれ。」と、当時水産課にいた私に連絡がありました。



早速、図鑑を持って漁師さん宅へ。わかりやすいスタイリングですので目星は直ぐにつきました。カワビシヤかテングダイのどちらか。図鑑で特徴を確認しますと、「背鰭棘数は4で背鰭の前寄りにある。」



はい。そのとおりです。次に、

「臀鰭の第2棘は長く、臀鰭前縁の大部分を占める。また、第2棘は第3棘より長く、太い。」



はい。そのとおり。

ということで、スズキ目カワビシヤ科カワビシヤ *Histiopertus typus* (Temminck and Schlegel, 1844)ということに。

貴重なサンプルということで水産試験場に持っていかうかと考えていると、「イサキの仲間みたいなかっこしとるから旨いんちゃうか？」との声が上がりました。塩をふって、ガスコンロのグリルに入れられました。しばらく待ちますと、まあおいしそうに焼けていまして、皆さんと美味しくいただきました。よって、これらの画像以上の情報は残っていないというのが現状でございます。

【参考資料】

中坊徹次編：日本産魚類検索 全種の同定 第三版 . 2013 東海大学出版会
益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 編：日本産魚類大図鑑 .
1984 東海大学出版

(文責 牧野弘靖)